

第2回横浜観光MICE戦略ミーティング 議事要旨

日 時：令和4年11月14日（月）15時45分～17時45分

場 所：市庁舎9階 応接室（一部オンライン）

事務局からの資料説明後、委員から意見聴取を実施しました。

議事非公開としたため、委員名を伏せて、発言要旨のみ公表します。

（委員発言要旨）

<まちづくり・魅力づくり>

- ・観光政策はまちづくりそのもの。戦略的に規制緩和や財源確保に組織横断で取り組み、観光都市をつくることが重要。
- ・都心臨海部のコンパクト性を生かし、市民も旅行者も楽しめるまちづくりを進める必要がある。
- ・ぶらぶら歩きが楽しめるウォークアブルなまちが人を惹きつける魅力になる。水辺や運河の活用も重要で、横浜の新たな観光資源となる。
- ・観光消費額を高めるためには高額消費者をいかに誘致できるか。高付加価値旅行とサステナブルが特に重要。
- ・中華街のようなキラーコンテンツを増やしていくことで、回遊性向上につながる。
- ・様々な企業の集積を生かして、最先端の街でのイノベーションや体験をつくっていきけるとよい。
- ・わざわざ横浜に来る方がどういう方でどこに勝ち目を求めるのか、本気でマーケティング分析をすることが必要。

<DMO・推進体制・財源確保>

- ・市は組織横断的にDMOに協力し、DMOが横浜の観光まちづくりを主導していくべき。市も経済界もDMOを応援し、DMO自身もマーケティング等を高めていくことが必要。
- ・裁量予算を持った強力なDMOの実現が重要で、固定的な補助金だけではなく、協働事業をフレキシブルに行える財源を持てるようシステムを作ることが必要。
- ・市内の大学と連携し、次世代の発想を取り込む仕組みが必要。
- ・宿泊税など財源確保や、民間資金導入のための戦略特区や規制緩和等の検討が必要。

<MICE>

- ・DXやSDGs、社会貢献等が重視されてきている。
- ・リアル参加につながる観光を会議誘致や参加者誘致の武器として、主催者やPCO(会議運営会社)にさらに強力にアプローチすべき。
- ・MICE人材を育成する都市として期待。